

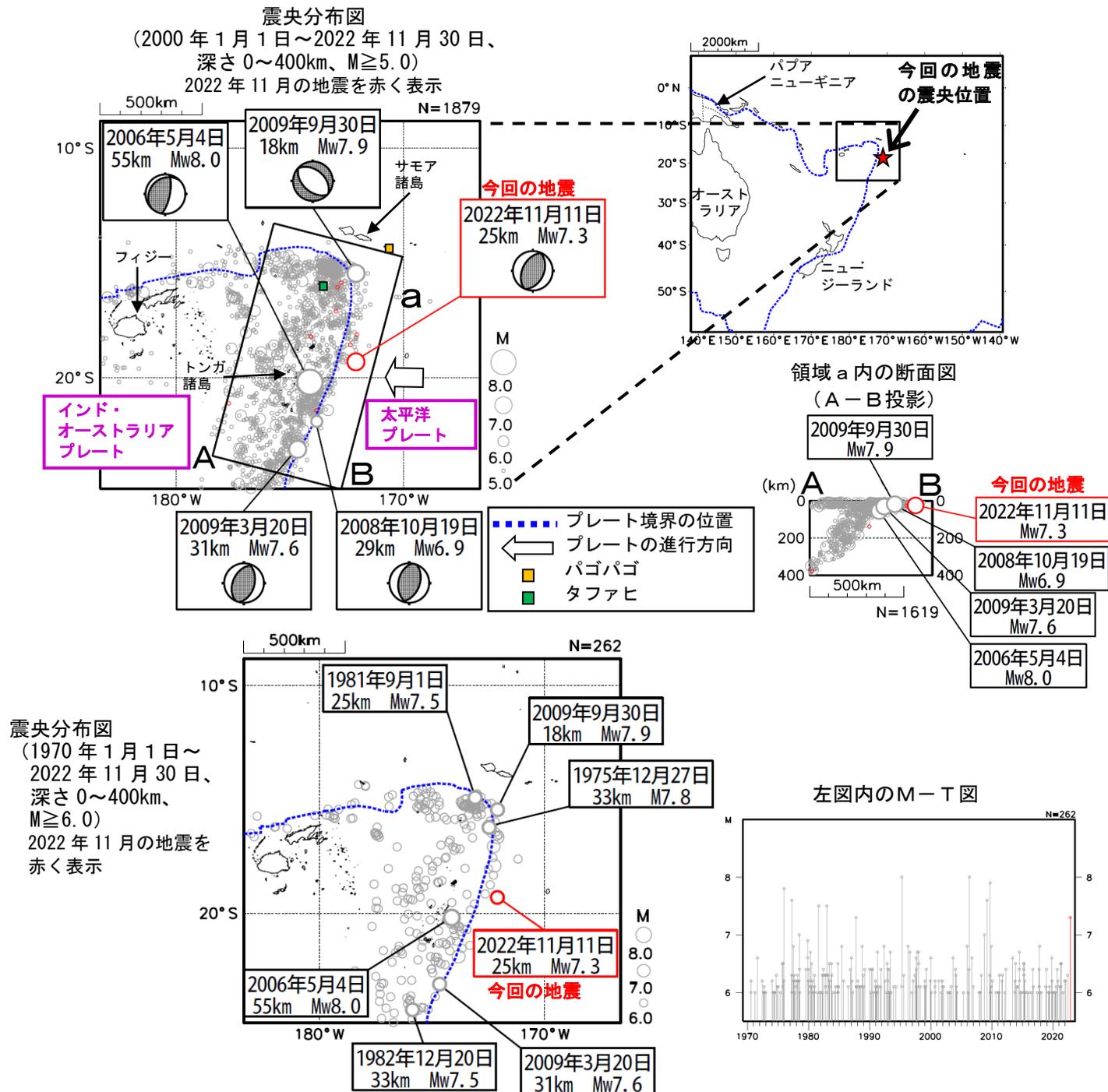
11月11日 トンガ諸島の地震

2022年11月11日19時48分（日本時間、以下同じ）にトンガ諸島の深さ25kmでMw7.3（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。今回の地震の震央付近（領域a）では、太平洋プレートがインド・オーストラリアプレートの下に沈み込んでいる。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレート内部で発生した地震であると考えられる。

気象庁は、この地震に対して、同日20時37分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。この地震により、米国領サモアのパゴパゴで0.12mなどの津波を観測した。

2000年以降の活動をみると、今回の震央付近（領域a）では、M6.0以上の地震が度々発生している。2009年9月30日にはMw7.9の地震が発生し、死者192人以上などの被害を生じた。また、日本を含む太平洋広域で津波を観測し、トンガ諸島のタファヒでは最大22.35m（遡上高）を観測した。

1970年以降の活動をみると、今回の震央周辺では、M7.0以上の地震が時々生じている。



※震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2022年12月7日現在）。ただし、発震機構とMwは、今回及び2009年9月30日の地震は気象庁、その他の地震はGlobal CMTによる。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）より引用。2009年9月30日の地震の被害は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」、津波の観測値は米国海洋大気庁（NOAA）による。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.